

南山大学国際地域文化研究科主催

# 「よい問いの立て方」ワークショップ

2021年6月12日（土）14:00～16:00

ZOOM開催

講師 **宮野公樹氏**  
(京都大学准教授)



第一部 宮野 公樹氏 講演 「問いの立て方」

第二部 ワークショップ 「問いを磨く」

第三部 質疑応答 「開かれた問いに向かって」

連絡先：南山大学国際地域文化研究科事務室

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Phone/Mail 052-832-4327/f-s@nanzan-u.ac.jp

お申し込みはこちら <https://forms.gle/nQbeJHoQy2ibA9EH8>

2021 年度第 1 回 国際地域文化研究科 FD 趣旨説明  
『『よい問いの立て方』ワークショップ』

冠省

本学大学院国際地域文化研究科では昨年度末に「グローバル化の進行と地域研究の未来」と題して各領域から一人ずつ、計 3 名の教員にプレゼンをして頂き、外部から著名学者を招いてミニシンポを企画し、研究科はもちろん学内外から 50 名を超える参加者を得て、大変好評を博しました。

今年度は本研究科の広報も兼ねて、夏期入試志願受付開始時期と春期入試志願受付開始前の二度にわたって FD を企画することになりました。第 1 回目は外部から著名講師を招いた講演会／ワークショップ、第 2 回目は昨年度同様の研究科教員を主体とし外部から著名コメンテーターを招いてミニシンポを行い、研究科の教員と院生の研鑽の機会とするとともに、広く学内外に本研究科の意義を知らしめ、社会における学術的ニーズにこたえ、併せて潜在的志願者の掘り起こしの機会ともしたいと考えております。両 FD とも日程はあえて土曜日の午後に設定し、修論や卒論に悩む学内外の院生・学部生、そして学問を生業とする研究者、さらには本研究科にご関心のある一般市民の広範なご参加を得ることができるようになりたいと考えております。

まず来る 6 月 12 日土曜日 14 時から 16 時までに設定された第 1 回 FD ですが、講師として、この種の本としては異例のベストセラーとなった『問いの立て方』（ちくま新書、2021 年 2 月刊）の著者で、このテーマにおける第一人者というべき京都大学准教授・宮野公樹先生を講演者としてお招きし、ご高著と実際のご経験を中心にまず講義形式のお話をいただいた後で、前もって本研究科の教員と院生から募ったサンプル的な問いから三つほどを事前にご覧いただき、先生のご評価とご助言を基に「よい問いの立て方」を、実例を基に参加者共々考えるワークショップを開催します。

宮野先生は「研究」と「学問」を分けて考えておられます。社会から要請を受けたり、他人から与えられたりした課題、あるいは細分化された各学術分野の隙間を埋めるような、我々大学教員が日常的業務／ジョブとして取り組む「研究」と称する活動にとどまらず、人間の本能に根差す知的衝動の発露としての学問の営みとしての、言わば人生を賭したライフワークとして取り組まれる本来の意味における真実探求としての研究においてはなおさら、その出発の時点で決定的な意味を持つのは「よい問い」を立てられるか否かです。自らの所属する学術分野でパラダイムの変更を迫りうる、個別的でありながら普遍への契機を内包する、日々の研究活動を支えるに足る魅力的な、研究成果に触れる人々に共感の輪も広がるような問いを立てるには、いったいどうしたらよいのでしょうか。そのような理想的な「問いの立て方」の秘訣はあるのでしょうか。

本研究科 FD で初となる理科系講師をお招きし、全く異なった視点から我々が日々悩む「よい問いの立て方」に貴重なご助言を得る機会を持つことができましたことは、誠に同慶の至りです。コロナ禍の下での二度目の盛夏の到来を前にした梅雨時の土曜の午後のひと時、この重要課題とともに真剣に取り組んでいただける契機となれば企画者としてこの上ない喜びです。

草々